

横浜市立洋光台第一小学校



学校だより

令和3年6月30日発行

令和3年



GIGA スクール構想「一人一台の端末」がやってきた！

副校長 宮崎 恵子

早いもので、盛り上がった運動会から1か月が過ぎました。天気にも恵まれ、ディズニーの曲にのったかわいらしい一年生のダンスから、伝統を背負って舞う六年生のソーラン節まで、どの学年も練習の成果を発揮し、全力で表現する姿には本当に感動しました。どの学年もすばらしかったですし、一人ひとりが輝いていました。また、今年は創立50周年ということで、それを意識した内容も随所に取り入れられました。お祝いの聖火ランナーやバースデーケーキのセレモニーもあり、記憶に残る運動会になりました。

さらに、運動会を支えてくれた高学年のプロジェクト活動。小学校の運動会は、教職員だけの力では運営できません。高学年が様々な仕事を担当したり、低学年のお世話をしたり、応援やキャラクターなど盛り上げるために工夫したりしているから、毎年素晴らしい運動会が開催できます。事前の活動から当日まで、本当に頑張ってくれた高学年の活躍に心から感謝したいと思います。

今年もコロナ禍の運動会ということで、様々な制限の中で行われることとなりました。午前中のみの短縮開催、ご家庭の参観も2人までと、保護者の皆様には多くの点でご協力をいただきました。誠にありがとうございました。また、連日の練習で地域の皆様にはご迷惑をおかけした場面があったかと思いますが、温かく見守ってくださりありがとうございました。この運動会での経験を生かし、さらに大きく成長していく子どもたちを、これからも支援して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

さて、7月6日（火）は洋光台第一小学校のGIGA開きです。文部科学省からGIGAスクール構想について「一人一台の端末環境と高速通信環境の整備」と発表されているように、本校でも子どもたち一人ひとりに一台ずつ貸与用のiPadが届き、今、GIGA開きを前に、少しずつiPadの操作を体験しています。個人で使用できるiPadを活用し、自分から調べたり、記録したり、意見を出し合ったりすることで、子どもたちの学習が「習う」から「自ら学びとる」ものへと変わっていくことを目指します。と同時に、iPadは使い方を間違えらぬトラブルにつながるため、情報モラルやマナー、ルールを守ることの大切さも伝えていきます。さらにはこの先、昨年のような臨時休校の場合でも、このiPadを貸し出して学習動画やオンラインによる授業などを行うことができるのではないかと考えています。

その昔、墨と筆で学んでいた子どもたちが、やがて鉛筆とノートで学習することが当たり前になったように、一人一台の端末を持って学ぶことがごく普通になる日が、ついにやってきたようです。私達教職員も、子どもたちと共に学びながら、この優れたツールを有効的に使えるよう頑張る参ります。

